



広  
報

# びらとり

# 2016 5

みんなで作る、未来へつなぐ。あふれる笑顔、びらとり。

## 北海道日本ハムファイターズ野球教室 (5月7日)



特 「自治基本条例」ってなんだろう？ シリーズ4 … 2

集 平取町地域活性化協議会と実施事業 … 4

まちのひろば … 5 教育委員会からのお知らせ … 8

すこやかだより …12 図書館へ行こう …13

シリーズ特集

# 「自治基本条例」

# つてなんだろう？

シリーズ 4

シリーズの第4回目は、町民参加の権利・保障・推進拡充、町民の知る権利・責務と協働について解説します。

## ① 町民参加の権利

本条は、町民は町政の主権者であり、それぞれの年齢において町政運営に主体的に参加する権利があることを明らかにしています。

町民参加においては、町民が互いに対等の立場であることを明らかにしています。例えば、心身に障がいのある人、外国籍の町民も同等の参加権を有することを定めています。

## ② 町民参加の保障

町民参加を保障する分野が、町



総合計画検討委員会 (H27.12)

の基本的な計画の策定や行政評価などのあらゆるプロセスであることを明らかにし、執行機関や議会が政策決定の過程などにおいて用意する多様な機会への町民参加を保障することを定めています。

## ③ 町民参加の推進拡充

町政運営のあらゆる分野における町民参加を保障し、推進するため、多様な参加の手法を用意する

## ① 町民参加の権利

第10条 町民は、町政の主権者として、それぞれの年齢にふさわしい町政運営に参加する権利があります。

2 町民は、町政運営に参加する際に、国籍、民族、性別、年齢、心身の状況、信条、社会的又は経済的環境等によるいかなる差別も受けません。

## ② 町民参加の保障

第11条 町は、町政の基本的な事項を定める計画や立案等の検討過程において、町民の参加を保障しなければなりません。

## ④ 町民の知る権利

町民の権利として町政運営に係る情報を受け取るだけでなく、必要な情報を自ら求め、取得できることを定めており、情報共有の柱となる権利を明確にしています。

この権利は、町民が主体的に町政運営に関わるための基礎的な参加権として位置づけられます。

ことを定めています。また、具体的な町民参加の機会として、総合計画の策定、見直し、重要な条例、規則の改廃、評価、事業選択、実施に関するプロセスに町民参加を図ることを定めています。そして、町に住民登録がない人の町政参加についても保障することを定めています。

### ④ 町民の知る権利

第13条 町民は、町が保有する町政についての情報を知る権利があります。

### ⑤ 町民の責務

第14条 町民は、町政の主体であることを自覚し、互いに尊重し、協力して自治を実現する責務を有します。

2 町民は、この条例主旨を尊重するとともに、町政運営に参加するにあたっては、自らの発言や行動に責任を持たなければなりません。

### ⑥ 協働

第15条 町民と町は、相互理解のもと、共通の目的を持って、それぞれの役割を担いながら、協働を推進します。

### ③ 町民参加の推進充実

第12条 執行機関は、多くの町民の参加機会を保障するため、審議会の委員の公募、意見の公募などの多様な参加手法を用意しなければなりません。

2 執行機関は、次に掲げるときは、町民の参加を図らなければなりません。

- (1) 総合計画などの重要な計画を策定し見直すとき。
- (2) 重要な条例案の策定や改廃を提案するとき、及び、規則や要綱などを制定し、改正し、廃止するとき。
- (3) 事業を選択するとき。
- (4) 事業を実施するとき。
- (5) 行政評価を実施するとき。

3 町内に住所を有しない人で、町内で働いている人、学んでいる人、また、町内で事業を営む法人及び活動する団体については、町政に参加する機会が保障されます。

⑥ 協働  
協働の推進にあたって、町民と町、それぞれの特性を理解し合うとともに、共通の目的を持って、役割を認識し、対等な関係で協働に努めていくことを規定しています。



中高生まちづくり議会 (H27.10)

⑤ 町民の責務  
町民自身がまちづくりの主体、担い手であることを認識し、住んでいて幸福を感じる地域づくりのため協力する責務があることを定めるとともに、町政に参加するときは公共的視点をもって発言、行動しなければならぬことを規定しています。

次回は、シリーズ5「行政運営」、「総合計画」、「行政改革」について解説します。

⑦ 町民投票  
本条では平取町の重要な政策判断などが必要なときに、町民投票を町民意確認のための最終手段として位置づけ、制度を設けることができることを定めています。

### ⑦ 町民投票

第16条 町長は、町政の重要事項について、町民の意思を直接に確認し、町政に反映させるため、町民による投票を実施することができます。

2 町は、町民投票に参加できる者の資格、投票結果の取り扱い、その他町民投票の実施に必要な事項は、それぞれの事案に応じ、別に条例で定めなければなりません。

# 平取町地域活性化協議会と実施事業

## 事業実施の背景

平取町は、恵まれた自然環境や歴史・文化などの地域資源と農林業の基幹産業をもとに発展してきましたが、時代の変化とともに、全国的な動きと同様に、少子高齢化や若者の町外への流出などにより人口の減少が続いています。人口減少に歯止めをかける手段の一つとして、地元若手や働き盛りの年代の人たちの仕事、雇用の機会をつくっていくことが重要になっています。

## 平取町地域活性化協議会とは

平取町における雇用創出と地域経済の活性化を目的として、平成24年1月に平取町、JAびらとり、沙流川森林組合、平取町商工会、平取アイヌ協会、平取建設協会、二風谷民芸組合の7団体から構成される平取町地域活性化協議会が設立され、厚生労働省が進める「実践型地域雇用創造事業」に応募し、同年2月に採択され、3年間事業を実施しています。

年2月に再び採択され、北海道労働局から委託を受けて、平成30年3月までの予定で6人のスタッフ体制で新たなスタートを切りました。

## 歴史文化と（アイヌ工芸の里「びらとり」雇用創造プロジェクト）の推進

平取町では、アイヌ文化の伝承を生業に結びつけながら、アイヌ伝統工芸の継承を推進していますが、原材料の確保と人材育成は大きな課題となっています。

また、平成32年に白老町に国の「民族共生の象徴となる空間」整備にともない、平取町来訪者の減少が危惧されることから、アイヌ文化など多様な地域資源を活かした観光産業を拡充していくことが今後の課題となっています。

それらの課題の解決を図るため、歴史文化とアイヌ工芸の里「びらとり」雇用創造プロジェクトの主な柱となるセミナー開催と商品開発を通して、雇用の創造

を目指します。

## 事業の内容

セミナー開催を町民の皆さまにご案内します。商品開発状況も逐次ご紹介していきます。



木彫セミナーの様子

## お問い合わせ先

〒0555・0107

平取町本町30・7

☎ 2・3091

FAX 2・3092

（月）金・祝祭日除く

8時30分～17時15分

事務局 アイヌ施策推進課

☎ 2・2341

事業項目	参加者／実施者	実施内容	今年度の予定
1. セミナー開催	事業の多角化や新規参入に関心のある企業や創業予定者など	1.特産品マーケティング・販売戦略	6月～ 平成29年2月
	失業者・転職志望者などの求職者 （平取町内に就職を希望する者）	1.工芸制作技術習得（木彫、刺繍、木工など） 2.地域資源活用新商品開発（野菜、スイーツ等） 3.接客・地域ガイド（マナー、自然、歴史文化） 4.IT・情報発信技術習得（パソコン・インターネット）	6月～ 平成29年3月
2. 就職面接会	求人事業者／求職者	求人企業と求職者のつながりをつくります	平成29年3月
3. 新商品開発	協議会スタッフ（実践支援員4人）	1.地域資源活用新商品開発事業 工芸品、野菜等加工品、スイーツ等特産品 2.着地型観光システムの開発事業 体験プログラム、案内所、案内バス、モニターツアー等	4月～ 平成29年2月



### かわまちづくり計画登録証伝達式

かわまちづくり計画登録証伝達式が4月11日、役場会議室で行われました。

「かわまちづくり」とは、地域活性化のために景観、歴史、文化および観光基盤などの地域が持つ「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村および地元住民と河川管理者の連携のもと、「河川空間」と「まち空間」が融合した良好な空間形成を目指す国土交通省の取り組みです。

当町の「かわまちづくり」計画は、平成21年度から平取地域イオル再生事業と連携し、植栽や文化伝承のための水辺空間の整備を進めてきました。町は、アイヌ文化の振興・保全、イオル再生に向けた検討等の必要性が高まっている状況を踏まえ、整備済の箇所を含めた広域を一体とした水辺空間の活用をより一層進めるため、「平取町かわまちづくり」計画の変更を行いました。

### まちづくりプロジェクトとの連携協定

4月26日、町と株式会社まちづくりプロジェクトは地域活性化包括連携協定を締結しました。この協定により、福祉・教育・産業など幅広い分野での連携を行います。

株式会社まちづくりプロジェクトは、東京でIT関連会社社長を務めている秋葉英樹さんが振内町に立ち上げた新会社です。IT技術を活用し町の活性化に貢献したいと考えるようになり、当町への移住を決めました。今後の取り組みとしては、ウェブ上で相互にやりとりできるサイトの立ち上げや、憩いの場所となるカフェの開設、高齢者向けの健康管理アプリケーションの開発や農業でのIT技術の活用なども目指しています。



### 象徴空間「広域関連区域」中央要望

4月5日、川上町長、鈴木町議会議長、木村町アイヌ協会会長、貝澤二風谷民芸組合代表理事が、東京にて中央要望を行いました。内閣官房では象徴空間「広域関連区域」に係る町の役割として「各分野における総合的な人材育成」と「広大な森林を利用した持続的な原材料供給」について、また、文化庁では象徴空間で建設される国立博物館との相乗効果について、それぞれ要望書を提出しました。

先人たちが育み、いまなお生活の中で息づくアイヌの文化的所産は、海外からも注目される町の貴重な文化財です。伝承、保全、活用の観点から町ならではの役割を提案し、具現化に向けて取り組んでいます。



### 沙流川歴史館企画展

沙流川歴史館では、平成 25・26 年度に発掘調査を実施した「豊糠 8 遺跡」の発掘調査成果展を 5 月 29 日まで行い、今後は移動展としてふれあいセンターびらとり・振内町民センター・貫気別生活館の各施設で移動展を行います。

詳しい日程などはまちだよりに掲載しています。ぜひお近くの会場でご覧ください。

### オジュウチョウサン号が GI 制覇

4 月 16 日、中山競馬場（千葉県船橋市）で行われた「第 18 回 農林水産省賞典 中山グランドジャンプ」（J・GI）で、平取町・坂東牧場生産のオジュウチョウサン号（牡 5 歳）が優勝しました。

前年のレッツゴードンキ号（第 75 回桜花賞）に続き、2 年連続の平取町生産馬による中央競馬 GI 制覇となりました。



写真提供 JRA 日本中央競馬会



### 日本ハムファイターズ野球教室（5/7）

5 月 7 日、北海道日本ハムファイターズベースボールアカデミー（北海道日本ハムファイターズ平取後援会主催）が行われました。この日は朝から雨が降り、町民体育館に会場を移しての開催になりました。元プロ野球選手の立石尚行さん・池田剛基さんを講師に迎え、参加した子どもたちはキャッチボールやバッティングなどの指導を受けました。

### アイヌ文化伝承のための植樹をしました

5 月 11 日、北海道森林管理局や平取アイヌ協会、町などで構成される「21 世紀・アイヌ文化伝承の森プロジェクト作業部会」の関係者約 50 人が参加し、アベツ地区国有林（1251 林班）において、アイヌ文化で有用となるオヒョウニレほか 7 種類の樹木 900 本を植樹しました。



## キナアカラ（山菜採り）体験（5/14）

「キナアカラ（山菜採り）体験交流事業」が二風谷にあるイオルの森で行われ、町内外から約100人が参加しました。この事業は、伝統的生活空間「イオル」再生事業の一環として、春の自然の恵みである山菜の正しい採取方法を覚え、また、伝統的作法も体験することによりアイヌの精神文化の普及・啓発も合わせて図ることを目的に実施しています。



## まちづくり政策アドバイザー委嘱式

町では、まちづくりの推進について専門的な立場から相談・助言を行う「まちづくり政策アドバイザー」制度があります。

5月12日に役場町長室で行われた委嘱式では、川上町長が紺野洋史さん（写真左）と飯田隆雄さん（写真右）の2人に委嘱状を手渡しました。

委嘱期間は平成30年3月31日までです。

## 振内町公共施設の周辺整備を実施

2月23日から3月18日にかけて、有限会社福澤設備工業様より地域貢献活動の一環として、入幡神社や池売生活センターの朽木や雑木などの整理を行っていただきました。

見晴らしも良くなり、施設周辺が安全で快適に利用できる環境に整備されました。



## 荷負地域公共施設の周辺整備を実施

5月8日、株式会社川上砂利工業様より地域貢献活動の一環として、ペナコリ生活館周辺の朽木や雑木などの環境整理を行っていただきました。

支障杭なども整理され、施設周辺が安全で快適に利用できる環境に整備されました。

# 教育委員会からのお知らせ

## 特色を生かし、心身ともに、健やかな成長を目指して ～学校・家庭・地域の連携の充実を～

町内の小中学校 7 校では平成 28 年度が始まり 2 ヶ月が経過しました。学校・家庭・地域の連携を図りながら、それぞれの学校の特色を生かしながら教育活動を展開しています。

どの学校においても、確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成を柱に教育活動を推進していくこととなります。本年度の各学校の児童生徒数・重点目標（キャッチフレーズ）などは次のとおりとなっています。

- 紫雲古津小学校 20 人「信頼に応える学校づくりのために、教職員が学校経営に参画し、組織として経営を進める」教育力向上、地域との連携の充実 **へき地複式教育**
- 平取小学校 142 人「伝えひびき合い、ともに高め合うことができる子どもの育成」  
～めざせ！ことばひびかせ 笑顔でゴール～ **道徳教育**
- 二風谷小学校 32 人「自ら考え学び 思いやり 互いを認め合い 粘り強くやり遂げる子ども」  
～心に響き合う授業の創造～ ハララキ活動・アイヌ語学習
- 貫気別小学校 30 人「子どもたち一人ひとりにとって安心して安全な学校となる学校づくりに努める」  
地域に根ざした特色ある学校、開かれた学校 **外国語活動**
- 振内小学校 48 人「確かな学力の育成／豊かな心の育成」  
アクティブ・ラーニングの視点、あいさつ・思いやりのある学校を目指して
- 平取中学校 105 人「心を磨き、自らを律することのできる生徒の育成」  
自立・自律・共生、心の学校の実現、～郷土愛、学力向上日本一！～
- 振内中学校 29 人「生徒一人ひとりに確かな学力と社会性を育む教育活動の推進」 **道徳教育**

※**へき地複式教育・外国語活動・道徳教育**は平取町教育研究推進事業指定校で公開研究会を開催予定  
昨年同様にどの学校も「家庭・地域との連携」をキーワードにしています。知徳体の調和のとれた子どもの育成のために、学校・家庭・地域が双方向で連携することが大切です。

平取町で生活する小中学校の児童生徒 406 人、また就学前の子どもたちや平取高等学校・平取養護学校の生徒を含め、子どもたちの心身ともに健やかな成長のために、常に子どもを温かく見守り育てていきたいものです。

## キャロリン先生着任、外国語指導助手（ALT）2 名体制！



4 月、平取町で 2 人目の外国語指導助手（ALT）としてコストロ・キャロリン・エリザベスさんが着任しました。キャロリンさんは、ニュージーランド出身で平成 13 年度より日高教育局、三石町、新ひだか町で外国語指導助手を経験しているベテランの先生です。

ニュージーランドにおいても小学校で勤務され、図工や体育を得意としています。終日勤務のため、本人の希望により外国語活動はもちろんのこと、他の教科においても積極的に関わり、児童生徒とのコミュニケーション能力の育成のため活躍されています。

平成 25 年度から着任しているデйна先生と併せて、2 名体制で平取町の外国語教育の指導体制が充実し、児童生徒の語学力やコミュニケーション能力の向上が図られることを大いに期待しています。

2 名の勤務校は、それぞれ次の 4 校になっています。

- キャロリン先生……紫雲古津小学校・平取小学校・二風谷小学校・平取高等学校
- デйна先生……貫気別小学校・振内小学校・平取中学校・振内中学校

## 平取町民大学 ～町民なら、どなたでも学べます～

4月13日、平取町民大学開校式および第1回講座を開催しました。

今年度は、昨年度も登録されていた33人に加え、新たに6人の方が登録をされ、合計39人で町民大学がスタートしました。講座は、様々なジャンルの内容で毎月1回程度開催する予定です。

開校式では、遠藤光江さんが「心新たに皆さんと一緒に1年間学んで行きたい」と、学生代表としてあいさつをしました。



学生代表あいさつ



講師の清水勝氏



講師の佐藤勝氏

その後開催された『銀聖の取組み』と題しての第1回講座は、講師に日高定置漁業者組合事務局長の清水勝氏と同組合副組合長で銀聖プロジェクト委員長の佐藤勝氏をお招きし、日高のブランド鮭

『銀聖』のブランド化までの取り組みについて、日本産の天然鮭の優れた栄養化についてなど、『銀聖』に懸ける熱意ある内容の講演が行われました。

### 《今後の予定》

6月15日㊦ 「くらしの安心安全セミナー」

(一社)北海道消費者協会 非常勤講師 小田 孝子 氏

7月(6日㊦ 「がんを知り、がんにはげない2016」

北海道がんセンター 院長 近藤 啓史 氏

8月24日㊦ 「北海道近代化過程の諸産業をニシン漁、売薬、養蚕、炭鉱などにみる」

野外博物館北海道開拓の村 館長 中島 宏一 氏

- 学生以外の方もお気軽に参加してください。
- 年度途中からの登録も可能です。

【問い合わせ先】平取町教育委員会 生涯学習課 社会教育係 (☎ 2-2619)

### 体育館 日曜日開放のお知らせ

町民体育館・振内青少年会館・貫気別町民センターの各体育施設を第2と第4日曜日に一般開放しますので、どうぞご利用ください。

**一般開放**

**第2・第4日曜日 9:00～15:00**

# 教育委員会からのお知らせ

## 心地よい春の風を浴びて「振内こどもの日親子ハイキング」



5月5日、振内町で親子ハイキング（振内自治会主催、振内青少年会館後援）が開催されました。

前日まで天候が安定せず、開催できるか不安でしたが、当日は、見事に天候が回復し、約60人の参加者たちは、振内青少年会館から仁世学園まで約7kmのコースを元気いっぱい歩きました。

仁世学園では、ヤマメ釣り大会を実施し、自分で釣り上げた生きた魚を目の前にして、子どもたちはとても喜んでいました。昼食は、みんなでお話をしながら、釣り上げたヤマメの唐揚げや豚汁を食べました。

自然にふれあいながら、1日でたくさんのことを体験し、大満足のこどもの日となったようです。



## 三大学合同入学式

～健康で生きがいのある幸福な生活づくりを求めて～

4月14日、振内高砂・貫気別明生・平取義経の三大学合同入学式が、中央公民館で行われました。

この三大学には、町内に在住する60歳以上の方なら、どなたでも入学する事ができ、健康で生きがいのある幸福な生活づくりを求めて、日常の健康管理の知識や技術の向上、趣味を広め余暇活動の充実を図るなどの目標を持ち、年15回程度の学習会を行っています。

今年度の入学者は、高砂35人、明生21人、義経15人の計71人で、料理教室・工作教室・町外研修旅行・各種クラブ活動などをそれぞれの大学で取り組むほか、例年2月には、三大学合同学園祭の開催、また昨年度より年2回実施している三大学合同学習会を通して、大学間の交流を深めながら学習活動を行います。

入学式では、入学者紹介の後、川上町長より祝辞をいただき、最後に学生を代表して、振内高砂大学の計良ミチ子さんがあいさつをし、学習に向かう意欲を述べました。

入学を希望される方は、教育委員会社会教育係にお問い合わせください。

(☎ 2-2619)



## 博物館コラム「イナウの役割」

イナウという神具があります。カムイノミ（神々への祈りの儀式）の時には、屋外の又サ（祭壇）にこのイナウが何本も立てられ、お酒を捧げ、祈り言葉が述べられます。

イナウは、日本の神道でいえば和紙を何度も折り曲げて作られる御幣のようなものだともいわれます。ヤナギの枝で作ることが多いのですが、ミズキを使うこともあり、それは、その土地その土地での採取の容易さによって決まるようです。

これらの木の素性のいい部分（若い枝で節のない所、直径3～4cm、長さ約80cm）を伐ってきて皮をさっと削り1週間ほど乾燥させます。乾燥させた枝の根元の方にイナウケマキリ（刀の先端に木片を突き刺した細身の小刀）をあて一息に引いてくることにより、キケ（クルクルとよりのかかった削りかけ）を作ることができます。これを何度も繰り返すことにより見事で美しいイナウが作られるのです。



二風谷アイヌ文化博物館で  
展示されているイナウ



しかし、これがなかなか難しく熟練の腕を要するところです。名人と言われる人でさえ、この作業の時には「身を正し、邪心を払わなきゃならない。夫婦喧嘩した時などは上手く削れない」と仰っていました。

直接お酒が捧げられることから分かるように、又サに立つイナウ一本一本が何かのカムイ（神）、例えば、ポロシルンカムイ（幌尻岳の神）、シランパカムイ（樹木の神）、ワッカウシカムイ（水の神）など、色々なカムイを象徴します。

アイヌ文化においてイナウは、とても重要な役割を担っているのです。

目指せ!!はつらつ健康

# すこやかだより

Health Information

## 平取町子ども 発達支援センター 『ひよこ学級』

子ども発達支援センター  
とは、どんなところ？

＊児童発達支援事業  
＊放課後等デイサービス  
2つの事業を行っています。

### 児童発達支援事業とは？

未就学児（0歳から就学前）のお子さんを対象としています。発達で気になる場所があるお子さんや保育園に入る前に小集団での活動を体験していく場。また、子育て上の悩みについて相談も受けています。

### 放課後等デイサービスとは？

小学生から18歳までを対象としています。発達で気になる場所があるお子さんや集団生活への対応、日常生活における基本的な動作の習得を実施しています。また、子育て上の悩みについても相談を受けています。

### 職員構成

＊管理者 1人  
＊児童発達支援管理責任者 1人  
＊保育士 2人

### 専門支援

＊作業療法士  
＊臨床発達心理士  
＊言語聴覚士  
しずない心の杜から月に1～2回程度支援にきています



### 巡回療育相談

＊室蘭児童相談所の巡回児童相談  
＊道立施設専門支援事業（北海道立子ども医療・総合療育センターから医師などが年2回来ています）

### センターのプログラム

＊午前（幼児）  
グループ療育になります。身体遊びや設定遊び（週の遊びをみんなで楽しみます）  
＊午後（幼児・学齢）  
個別・グループ療育を行います。遊びを通して療育を行います。

### ことばの発達について

ことばの発達には生活を基礎にした次の6つのことが大切です。



- ①生活リズムを整える  
早寝早起き、食事やお昼寝の時間を一定にするようにします。
  - ②からだを動かして十分遊ぶ  
からだを動かすと、その刺激が脳を発達させます。
  - ③気持ち安定していること  
一緒に遊んでくれる人がいることが大切です。
  - ④手を使うこと  
手のはたらきは、ことばの動きと深い関係があります。（お手伝いや身の自立の他にも、お手玉やあやとりなど伝承的な遊びも手の動きのために大切な要素をたくさん含んでいます。）
  - ⑤いろいろな経験を積むこと  
なるべくテレビやDVDに頼らずに、ほんものに触れましょう。
- （問いかけに答えてくれない、知りたくないのにどンドン勝手に流れたばなしのテレビやDVDはことばの発達の邪魔になることがあります。）

⑥ものをよく噛んで食べる  
よく噛んで口や舌を動かすことが、発音をするための動きの準備運動になります。

＊ことばかけ：話しかけるときには、ゆっくり、はっきり、くり返して話しましょう

●赤ちゃんや小さい子に対してはふつうのおとなに対してより、心もちゆっくりめに、はっきり話してあげましょう。  
●赤ちゃんがどんな気持ちでいるのか、観察して語りかけましょう。

●「ことばかけ」は特別なことをしようと思わなくても、日頃の生活の中で自然にやっていたら十分です。

### 【お問い合わせ先】

子ども発達支援センター  
（ふれあいセンターびらとり）  
☎2・3400

### 電話相談

子育て上の相談をお受けします。

平日 9時00分～17時00分  
来所相談は電話で日時をご確認ください。お気軽にご予約。



# 図書館へいこう 平取町立図書館

ふれあいセンターびらとり・3階

○開館時間 火～金曜日 9:30～18:00 土・日曜日 9:30～17:00  
 ○休館日 月曜日・祝日 ※月曜日が祝日の場合は、その翌日も休館。  
 TEL 4-6666 FAX 4-6871 〆 risu2@guitar.ocn.ne.jp



## 新着図書のお知らせ

### 【小説・エッセイ】

『スクープのたまご』／大崎梢  
 『純情必死剣 からたけ割り』  
 ／池永陽  
 『ツバキ文具店』／小川糸  
 『葵の月』／梶よう子  
 『なにもないことが多すぎる』  
 ／片山恭一  
 『ニセモノの妻』／三崎亜記  
 『向田理髪店』／奥田英朗  
 『屋上の道化たち』／島田荘司  
 『若様とロマン』／畠中恵  
 『死仮面』／折原一  
 『マチネの終わりに』／平野啓一郎  
 『イヤシノウタ』／吉本ばなな



### 【家庭・生活・趣味】

『親子で楽しむ手形アート』  
 ／やまざきさちえ  
 『男の“ええ加減”料理は  
 フライパンひとつ』／石蔵文信  
 『毎日のお味噌汁』／平山由香

### 【医療・社会】

『認知症は早期発見で予防できる』  
 ／青柳由則  
 『寝たきりにならずにすむ  
 筋肉の鍛え方』／荒井秀典  
 『子どものアトピー性皮膚炎  
 正しい治療法』／江藤隆史  
 『選択的夫婦別氏制』／滝沢聿代  
 『数と音楽 美しさの源への旅』  
 ／坂口博樹

## 新しいDVDが入りました！

### 【アニメ】

- 「インサイドヘッド」
- 「ペンギンズ フロム・マダガスカル  
ザ・ムービー」
- 「ちいさなプリンセスソフィア  
にんぎょのともだち」
- 「スヌーピーのいじめっ子と勝負！」
- 「映画クレヨンしんちゃん  
嵐を呼ぶアッパレ！ 戦国大合戦」

### 【映画】

- 「ソロモンの偽証」前篇・事件／後篇・裁判  
(宮部みゆき原作)
- 「ふしぎな岬の物語」(吉永小百合主演)
- 「奇跡のひと マリーとマルグリット」  
(フランス映画)

### 【ドラマ】

- 「理系の人々」(コメディ)

※ DVD の貸出期間は 1 週間です。



## 図書ワゴン（移動図書館車）運行日程【6月】

### 2日（木）【貫気別地区】

- 10:45～11:15 荷負 遠藤和江さん宅前
- 11:30～12:00 貫気別生活館
- 13:15～13:45 芽生生活改善センター
- 14:00～14:30 旭生活館

### 3日（金）【振内地区】

- 10:00～11:00 山の駅ほろしり館
- 11:15～11:45 岩知志ふれあい館
- 13:30～14:00 豊糠生活改善センター

- 利用者カードがなくても、ご利用できます。
- 貸出期間は、**次回の巡回日まで**になります。
- 本の返却、不用な本のご寄贈も受け付けます。

## 5月の休館日

2・5・9・16・23・30日

## 6月の休館日

6・13・20・27日





オジュウチョウサン号勝利に沸く関係者のみなさま (4/16 坂東牧場)



公式キャラクター「ビラッキー」

まちの人口と世帯数

人口	5,358人	( 58)
男	2,613人	( 39)
女	2,745人	( 19)
世帯数	2,640世帯	( 43)

( )内は前月比 4月末現在

交通事故発生状況

発生件数	2件	( 0)
死者数	1人	( 1)
傷者数	3人	( 1)

( )内は前年比 4月末現在

死亡事故ゼロ日数 18日

死亡事故ゼロ日数は804日で途切れました

楯の実俳句

変身も羽化も出来ぬ身風光る  
 颯爽と踏切渡る春の服  
 春の雨小さくよろけ傘の外  
 土筆手に袴で登校ふと浮かび  
 わが影の老まざれなく春の宵  
 沙流川の流れば豊か初音さく  
 春月となれぬ光の冷やかかさ  
 天災に勝つ術もなき春となり  
 友の訃報花の便りの先に来て  
 雪解川暗き思いを流したし  
 轉りや徐々にほどける飛行雲

井内	石森	遠藤	内海	吉野	山崎	中道	渡辺	千葉	長野	柴田
青風	礼子	紫光	綾子	千佳女	喜峰	サト	正子	俊子	新一	紫梢



関係機関電話番号

- 市外局番 (01457)
- 平取町役場 (本庁)  
 総務課(代表) ☎2-2221  
 まちづくり課 ☎2-2222  
 産業課 ☎2-2223  
 税務課 ☎2-2224  
 出納室 ☎2-2225  
 建設水道課 ☎2-2226  
 議会事務局 ☎2-2227  
 アイヌ施策推進課 ☎2-2341  
 農業委員会・土地改良区 ☎2-2695  
 観光工商課 ☎3-7703
- 役場振内支所 ☎3-3211  
 役場貫気別支所 ☎5-5204

- ふれあいセンターびらとり ☎4-6111  
 保健福祉課 ☎4-6112  
 町民課 ☎4-6113  
 児童館 ☎2-3026  
 子ども発達支援センター ☎2-3400  
 地域包括支援センター「ほほえみ」 ☎2-3700  
 社会福祉協議会 ☎4-2267  
 図書館 ☎4-6666

- 平取町教育委員会  
 中央公民館 ☎2-2619  
 町民体育館 ☎2-2749  
 二風谷アイヌ文化博物館 ☎2-2892  
 沙流川歴史館 ☎2-4085

- その他公設機関  
 平取町国民健康保険病院 ☎2-2201  
 平取町外2町衛生施設組合 ☎2-2024  
 日高西部消防組合平取支署 ☎2-2361

平取町公式ホームページ



QRコード